



「先生が研究されているテーマについて教えてください。」

大きく分けて二つあります。

第一には、中国古代の皇帝制度と軍事制度について、それから第二には、これもまた古代の日本、中国、朝鮮の間における交流史です。具体的な研究方法の一つとして、県内の神社の研究などもやっています。例えば吉備津神社を見てみると、当時の吉備には朝鮮からの渡来人がたたくさんいたのではないかと考えることができます。祭られていた神様について、性格や分布状況などを調べていくと

神様から古代の様相を推測

当時のさまざまな様相を推測することができるとです。

「学生に接して来られて、何か話しておきたいな」と思われることはありますか。

ゼミに限らず、いろいろなものに興味を持って、それを調べようという態度を持った人を探めます。歴史は何にでも存在するので、興味の持ったことを一度、とことん追求してみるといいと思います。

それから、学生のうちにしかできない幅広い経験をしてほしいですね。社会に出ると、学

《担当講義》

- 東アジアの歴史
- 歴史資料解析

《研究テーマ》

- 古代中国の皇帝制と兵制
- 古代吉備と朝鮮
- 日本の神社と神話

《サークル顧問》

- ホラー研究会
- 文芸図書愛好会

《プロフィール》

- 出身県:大阪府
- 血液型:AB型
- 星座:しし座
- 好きな言葉:「好き」に生きる

《主な履歴》

- 10年間高校および代々木ゼミナールの世界史講師を経て現職。

生のように長い休みを取ることは難しくなります。この機会を棒に振らず、夏休みなどを利用して海外へ行ってみるのもいいのではないのでしょうか。世界に出てみるなど、自分の常識が全く通用しないなどということもあるものです。いい刺激になるとおもいます。

「先生の学生時代についてお聞かせください。」

ハンドボール部に所属しており、ほぼそれに打ち込んだ記憶があります。家庭教師のアルバイトなどもしていました。当時はスキーブームで、長い休

の時に山へ行き、そこでバイクをしながらスキーを楽しんでいたこともありました。何か趣味をお持ちですか。

先に述べたように、スキーが趣味です。他に、ヨットやダイビング、SF小説を読むのも好きです。映画鑑賞もその一つで、大スクリーンで見るとそれは最高だと思えます。それから、旅行も大好きですね。

「岡山についてどういった印象がありますか。」

ちようど阪神淡路大震災が起きた年に岡山へやってき

ました。震災の被害で、高速道路もまだ工事中で渋滞していました。結局、東京から来るのに30時間以上もかかってしまいました。着いたのは朝方、その時に見た朝日が本当に綺麗だったので、岡山の第一印象はかなりよかったです。記憶しています。着いてからすぐに桜の季節が来て、花見をやりました。四季のメリハリが身近に感じられるところですね。

「お薦めの場所はやはり鬼ノ城と、それから旭川の清流です。歴史も自然もあり、食べるものもおいしくて、岡山は本当にいいところだと思います。」

「では、岡山の人についてはどう思いますか。」

やはり岡山の学生に会う機会が多いですね。ゼミ生もいい人達ばかりです。話し方や雰囲気はゆったりしているように感じますが、意外にちゃちゃちゃきしており、言いたいことをはっきり言ったりするところがあるのではないかと思えます。悪いことではなく、良い意味で付き合いやすいと感じます。

心動かされたことば「人生を好きに生きる」

先生は、歴史学の主に東アジアの古代史を専門としている先生です。講義では歴史の授業なのに、教科書を使わないというスタイルで、歴史に興味がある人は、さらに深い興味を抱き、歴史に興味がない人も知らず知らずのうちに引き込まれる。そういって非常におもしろい講義をしてくれます。歴史が好きだった私は、志野ゼミに入り、卒論の指導以外に様々なことを教えるもらいました。中でも、「人生を好きに生きる」という先生の言葉には大きく心を動かされ、一度しかない自分の人生をよく考え、後悔しないように生きていくことと思えました。

ゼミでは学生が主体となって、ゼミを運営していきます。年々同志野ゼミ主催で行われる「史跡めぐり」は、行き先、日時、移動方法などをすべてゼミ生が決めます。こうしたイベントを年間してきたことで、私は、社会に適應できる力を養うことができました。

(ゼミ生・光吉高平・09年3月卒)